

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第3巻第21号

第21週(5月19日～5月25日)

発行年月日:平成15年(2003年)5月30日

発行:滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (21週)	累積報告数		平成14年報告数	
			滋賀 (21週)	全国 (21週)	滋賀	全国
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	2	183	6	693
	パラチフス	0	0	13	1	33
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	1	282	14	3132
4類感染症	アメーバ赤痢	0	2	190	6	453
	エキノкокクス症	0	0	11	1	9
	急性ウイルス性肝炎	0	1	383	2	915
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	43	2	146
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	28	1	90
	後天性免疫不全症候群	0	3	335	6	888
	ツツガムシ病	0	1	75	0	329
	梅毒	0	1	181	4	561
	破傷風	0	1	24	0	105
	レジオネラ症	0	0	47	1	166

*平成14年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.66	2.57	0.50	0	0	0	0	0	
A群溶連菌咽頭炎	0.63	0.29	1.67	0.50	0.40	0	0	2.00	
感染性胃腸炎	3.50	6.43	7.33	1.25	1.20	2.50	0.50	0	
水痘	2.19	3.14	4.33	1.50	0.80	1.75	0.75	1.00	
手足口病	0.72	1.71	1.17	0.25	0.20	0.50	0	0	
伝染性紅斑	0.13	0.29	0	0	0	0.25	0.25	0	
突発性発疹	0.53	0.57	1.17	0.75	0	0.25	0.50	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.44	1.44	0.67	0	0	0	0	1.00	
麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎	0.53	0	1.00	0.25	0.60	1.25	0.50	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.29	0	0	0	2.00	0	0	0	
急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	1.00	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

0 1 2 3 4
定点当たり患者数

3)今週のトピックス

水痘、手足口病の発生に地域的な偏り 重症急性呼吸器症候群(SARS)関連情報

定点把握の対象となる4類感染症の発生状況を先週と比較すると、咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎等の定点当たり患者数が増加しています。また、A群溶連菌咽頭炎、風疹およびマイコプラズマ肺炎の定点当たり患者数は減少しています。

咽頭結膜熱については、**大津**保健所管内の定点当たり患者数が2.57となっており、全国の定点当たり患者数と比較するとかなり多くなっています。

A群溶連菌咽頭炎については、先週より減少していますが、**草津**および**今津**保健所管内の定点当たり患者数が多くなっています。

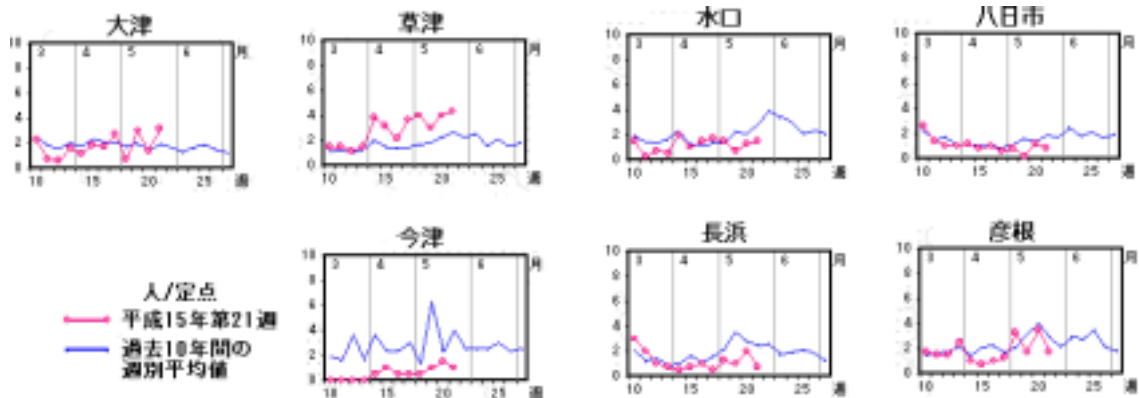
感染性胃腸炎については、先週と比較すると変化はみられませんが、**大津**および**草津**保健所管内の定点当たり患者数が多くなっており、それぞれ、6.43、7.33となっています。

水痘については、**大津**および**草津**保健所管内の定点当たり患者数が多くなっています。

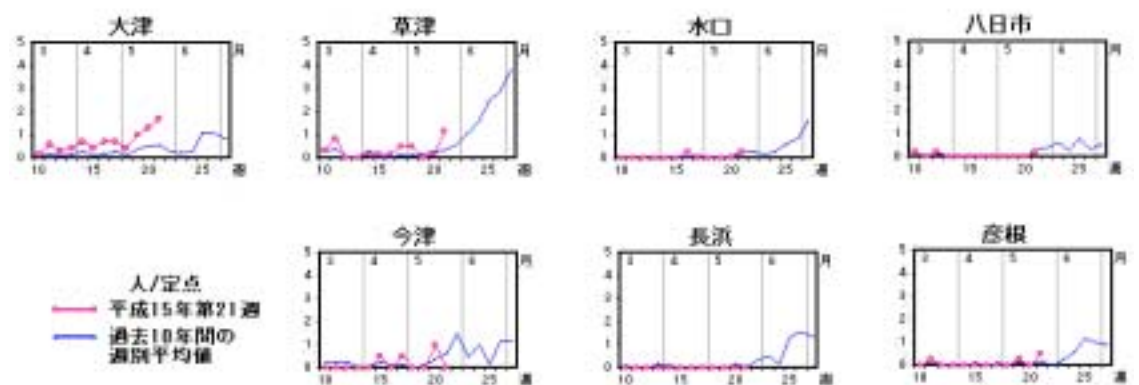
手足口病については、昨年の同時期と比較すると、**大津**および**草津**保健所管内の定点当たり患者数が多くなっています。

* 水痘および手足口病の保健所管内別発生状況は下記のグラフのとおりです。

水痘の保健所管内別発生状況(平成15年第21週)



手足口病の保健所管内別発生状況(平成15年第21週)



SARS関連情報

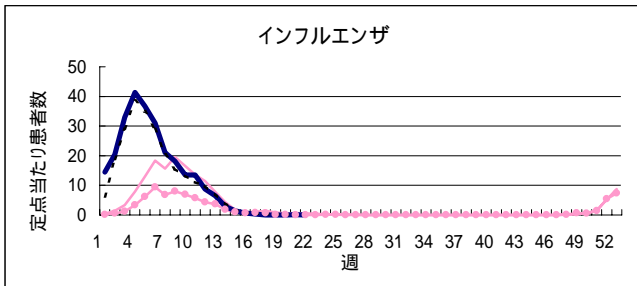
* SARSの報告数(H14.11.1～H15.5.29・WHOによる)

・症例数 8,295例 <死亡数750例を含む>

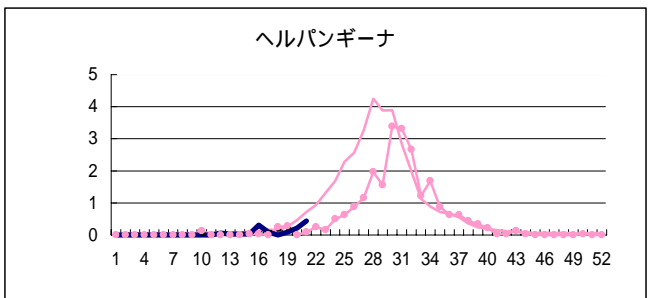
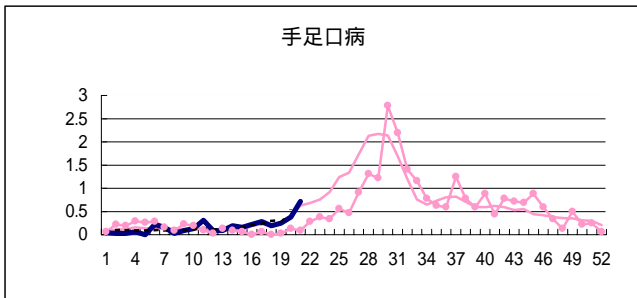
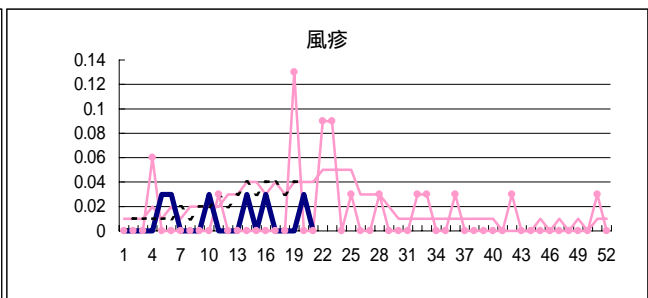
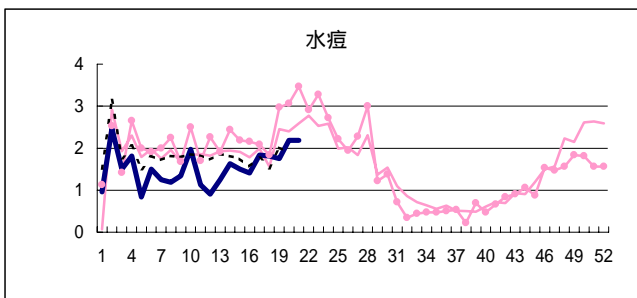
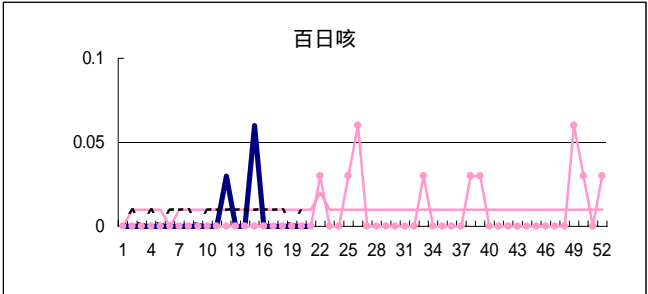
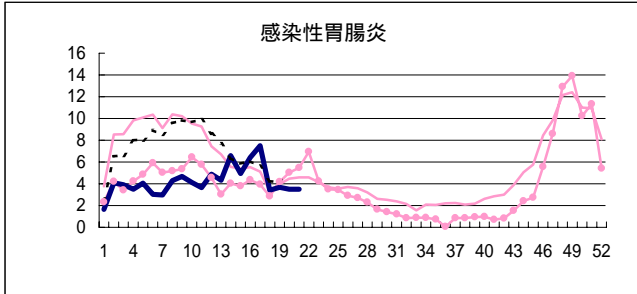
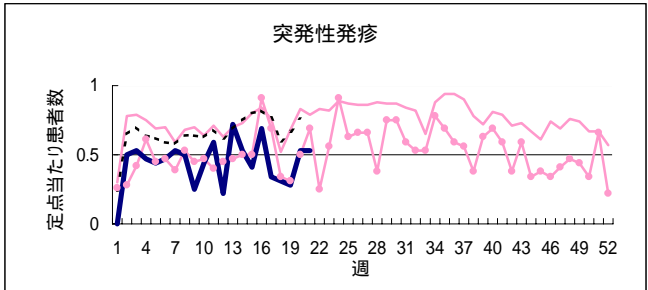
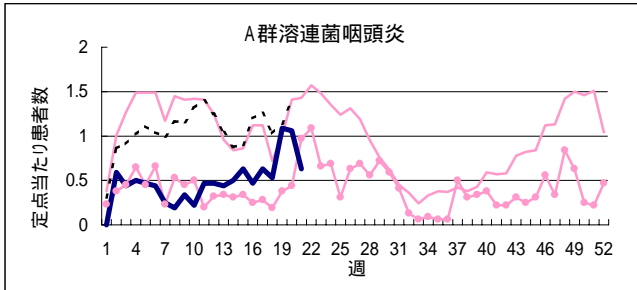
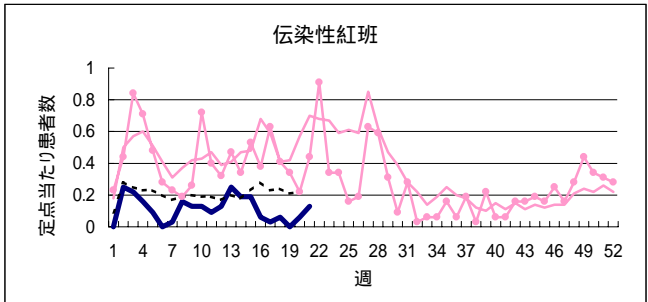
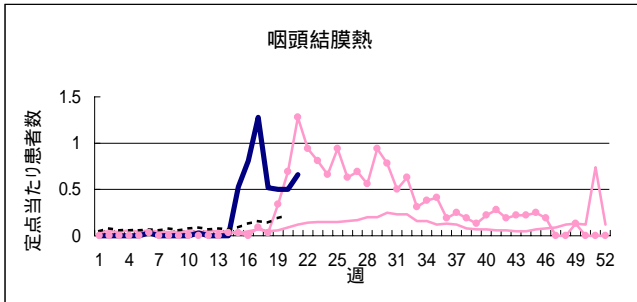
* 日本におけるSARSの疑い例等の報告状況(H15.5.29 17時現在・厚生労働省)

・疑い例	51例	<疑いが否定された	46例	専門委員会の審査予定	5例>
・可能性例	16例	<可能性が否定された	16例	専門委員会の審査予定	なし>
・確定例	なし				

疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第21週)



H14 { 滋賀 (pink line with dots)
 全国 (light pink line)
H15 { 滋賀 (solid blue line)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第21週)

H14 〔 滋賀 ●●●●●● 全国 ○○○○○○
 H15 〔 滋賀 ———— 全国 - - - - -

